# 研究開発内容説明書

［様式2]

本資料は15頁以内でまとめてください。ただし、理解を深めるために必要な場合は、写真・グラフ等、追加の補足資料として本資料とは別に日本工業規格A列4番5頁まで認めます。

作成言語は原則日本語ですが、英文による作成も可能です。

|  |
| --- |
| 研究開発課題名を記入してください。 |

　プログラム名：○○○研究開発

「ICTイノベーション創出型」、「若手ICT研究者等育成型」、「先進的電波有効利用型」、「若手ワイヤレス研究者等育成型」、「地域ICT振興型」の中から1つ記載してください。

１　研究開発の目的（詳細）

本研究開発によって、どのような問題点をどこまで解決しようとしているのか、具体的に記載してください。

フェーズⅠへの提案の場合は、フェーズⅡで予定している研究開発も踏まえて記載してください。

２　研究開発課題の位置付け

(1) 研究開発実施者における関連研究開発の状況

本研究開発課題に関連する研究開発実施者（研究代表者及び研究分担者）の研究開発状況について記載してください。

これまでの関連する論文、所有する知財等がある場合は、それらについても記載してください。

(2) 他機関における関連研究開発の状況

本研究開発課題に関連する国内外の研究開発状況について記載してください。

(3) 国内外における位置付け

本研究開発課題は、我が国の水準及び国際的水準それぞれにおいてどこに位置付けられるか、他の研究開発状況との比較を具体的に示しながら技術・方式の優位性を記載してください。

３　競争的資金により実施した研究開発（本研究開発課題関連の研究開発）

過去5年以内に競争的資金で実施した研究開発課題（現在実施中の課題も含む。）のうち、本研究開発課題に関連するすべての課題について、

・当該課題の概要

・得られた成果（論文等の数のみならず、得られた事実や開発した装置の概要等も記述）

・本研究開発課題との関連性（当該課題による成果を本研究開発課題へどのように受け継いでいるか、など）または相違点

について、簡潔に記述してください。

４　研究開発目標（アウトカム目標）及びその達成方法

(1) 研究開発目標

本研究開発全体を通じて達成するアウトカム目標を記載してください。フェーズⅠへの提案の場合は、フェーズⅡで予定している研究開発も踏まえて記載してください。

(2) 目標の達成方法

上記(1)で記載した目標を達成するための方法について、具体的に記載してください。

５　情報通信分野における技術面・学術面への貢献

(1) 新規性・独創性・革新性・先導性等

どのような点で既存技術を越える新規性、独創性、革新性、先導性等があるのかについて記載してください。

(2) 関連分野への波及効果

本研究開発課題に関連する分野で実施されている研究開発への波及効果等を記載してください。

６　「研究開発戦略マップ」におけるロードマップとの関係

提案書作成要領別紙1「「「研究開発戦略マップ」におけるロードマップとの関係」を記述するにあたって」を参照。

７　研究開発計画

年度別の研究開発計画（主要研究設備のリース・レンタルの計画、購入計画等網羅的に）を立て、費用対効果についてもできる限り定量的かつ具体的に記載してください。フェーズⅠへの提案の場合は、フェーズⅡで予定している研究開発計画についても年度別に記載してください。

８　「地域イノベーション戦略」の全体構想の実現への貢献

※地域ICT振興型研究開発への提案の場合で、「地域イノベーション戦略推進地域」として選定された（又は現在公募中の）地域の構成機関を含む課題の場合は、以下について記載すること。

（1）「地域イノベーション戦略」の全体構想のテーマ名

「地域イノベーション戦略推進地域」への提案書に記載した「地域イノベーション戦略」の全体構想のテーマ名を50字以内で記載してください。

（2）「地域イノベーション戦略」の全体構想の概要

「地域イノベーション戦略推進地域」への提案書に記載した「地域イノベーション戦略」の全体構想の概要を200字以内で記載してください。

（3）「地域イノベーション戦略」の全体構想の実現に向けた本研究開発の貢献

「地域イノベーション戦略」の全体構想の実現に、本研究開発がどのように資するのか、具体的に記載してください。

９　研究開発成果の目標

(1) 各年度における研究成果

目標とする「研究成果」を年度ごとに具体的かつ可能な限り数値的に記載してください。フェーズⅠへの提案の場合は、フェーズⅡで予定している研究開発も踏まえて、フェーズⅠ及びフェーズⅡそれぞれについて年度別に記載してください。また、周辺分野の研究開発動向を踏まえ、その目標を設定した根拠について明確に記載してください。

　　記載例：　平成○○年度　○○技術において△△（数値）の性能を達成。

　　　　　　　　根拠：○○技術は、最終目標である××技術の創出に不可欠な技術であるため、既存の技術を基に◇◇の改良を加えることによって、平成○○年度内に数値目標を達成することを目標に掲げる。

(2) 論文・特許等の発表目標件数

論文・特許等の定量的な数値目標について記載してください。0件の場合は“0”と記載してください。

フェーズⅠへの提案の場合は、フェーズⅡで予定している研究開発も踏まえて、フェーズⅠ及びフェーズⅡそれぞれについて年度別に記載してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 26年度 | 　27年度 | 　年度 | 研究期間終了後 | 合計 |
| 査読付論文掲載目標 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| その他の誌上発表目標 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 口頭発表目標 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 特許出願目標 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 国際標準提案目標 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 報道発表目標 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |

注：（　　）内は、外国語による件数を内数で記載

査読付論文掲載目標：論文誌や学会誌等、査読のある出版物への掲載目標件数を記載してください。

その他の誌上発表目標：専門誌、業界誌、機関誌等の出版物への掲載目標件数を記載してください。

口頭発表目標：査読付き国際会議における発表及びその他の口頭発表目標件数を記載してください。

特許出願目標、国際標準提案目標、報道発表目標：それぞれの目標件数を記載してください。



「様式2　2 研究開発課題の位置づけ （1）研究開発実施者における関連研究開発の状況」を踏まえ、研究開発実施者における関連する研究開発との相関図を作成してください。

［様式2 別紙]

６

研　究　開　発　課　題　名

研究開発内容説明図

［様式3]

（研究代表者名）

（所属研究機関名）

研究開発期間：フェーズⅠ：平成○年度

　　　　　　　　　　　　　　フェーズⅡ：平成○年度～平成○○年度

※フェーズⅠへの提案の場合は、フェーズⅡを含めた研究開発期間を記載してください。先進的電波有効利用型（電波有効利用促進型研究開発）においてフェーズⅡへ提案する場合は、フェーズⅡにおける研究開発期間のみ記載してください。

１　研究開発の目的

本研究開発によって、どのような問題点をどこまで解決しようとしているのか、具体的に記載してください。

２　研究開発の概要

「どのような手法により、いつまでに何を実現する研究開発なのか？」を記述のポイントとしてください。

３　期待される研究開発成果及びその社会的意義

本研究開発によって得られる研究開発成果と、その成果が得られることによる社会的な意義について、具体的に記載してください。

【記載上の留意事項】

上記の事項について、必ず図や写真等を用いて、このページ1枚（日本工業規格A列4番横・カラー）で分かりやすく説明してください。本資料については、フォントサイズ、レイアウトは自由です。（本内容を公表することがあります。）

平成○○年度研究開発予算計画書

[様式4]

年度毎に作成してください。フェーズⅠへの提案の場合は、フェーズⅡを含めた期間について年度毎に作成してください。

|  |
| --- |
| 研究開発課題名を記入してください。 |

（単位：円。Ⅰ～Ⅳ及び直接経費合計の「金額」欄は千円未満は端数切捨。）

| 項　　　目 | 積　算　内　容 | 金額［円] |
| --- | --- | --- |
| Ⅰ．物品費 |  | \*,\*\*\*,000 |
|  | 1. 設備備品費 | 機器名・形式(単価・個数を記載。リース・レンタルの場合は期間も記載。） | \*\*,\*\*\* |  |
| 2. 消耗品費 | 研究試料　\*,\*\*\*円×数量 | \*\*,\*\*\* |
| Ⅱ．人件費・謝金 |  | \*,\*\*\*,000 |
|  | 1. 研究員費 | 研究者　\*,\*\*\*円×\*\*\*人・時 | \*\*,\*\*\* |  |
| 2. 研究補助員費 | 実験補助者　\*,\*\*\*円×\*\*\*人・時 | \*\*,\*\*\* |
| 3. 謝金 | 〇〇に関する謝金 | \*\*,\*\* |
| Ⅲ.　旅費 |  |  | \*,\*\*\*,000 |
|  | 1. 旅費 | （〇〇―〇〇間）\*\*,\*\*\*円×\*人・回 | \*\*,\*\*\* |  |
| Ⅳ．その他 |  | \*,\*\*\*,000 |
|  | 1. 外注費 | 保守費、改造修理費、業務請負等 | \*\*,\*\*\* |  |
| 2. 印刷製本費 | 印刷・製本代等 | \*\*,\*\*\* |
|  | 3. 会議費 | 会場借料費 | \*\*,\*\*\* |
|  | 4. 通信運搬費 | 回線使用料　\*,\*\*\*円×\*\*ヵ月 | \*\*,\*\*\* |
|  | 5. 光熱水料 | 光熱費　\*,\*\*\*円×\*\*ヵ月 | \*\*,\*\*\* |
|  | 6. その他（諸経費） | ※詳細に記入のこと | \*\*,\*\*\* |
|  | 7. 消費税相当額 | ※非課税取引となる経費の消費税率相当分 | \*\*,\*\*\* |
| 直接経費合計 | Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ | \*\*,\*\*\*,000 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ⅴ．間接経費 | （Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ）×（間接経費の比率\*\*％） | \*,\*\*\*,\*00 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ⅵ．総　　額 | Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ＋Ⅴ | \*\*,\*\*\*,\*00 |

◎注意事項

・本様式の作成にあたっては、「情報通信分野における研究開発委託契約経理処理解説（競争的資金制度）」に基づいて、研究費の積算を正しく行ってください。本様式の内容は、評価の対象です。

（<http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/scope/>を参照のこと）

・研究開発に必要な機器設備の調達方法の決定にあたっては、購入とリース・レンタルで調達経費を比較し、原則、安価な方法を採用していただくことになります。（本事業の研究費は「委託費」であるため、購入した物品は研究開発期間終了後に総務省所有の物品となります。）

・本様式における「Ⅰ.物品費」の積算に含めた研究設備については、その概要説明を様式8及び様式9に記述してください。

・研究員の時間単価は、原則として総務省が別に通知する人件費標準単価表を用いてください。

（http://www.soumu.go.jp/main\_sosiki/joho\_tsusin/scope/document/document.html／「委託契約経理処理様式　様式2-4A」を参照のこと。」

・標準単価表を用いない場合及び研究補助員の単価については、時間単価の根拠となる資料を添付してください。

# 研究開発体制説明書

［様式5]

|  |
| --- |
| 研究開発課題名を記入してください。 |

１　研究開発の分担体制及び主要研究設備

本研究開発を実施するための体制や設備を記入してください。

　研究設備については、様式４（予算計画書）に計上する研究設備（購入設備及びリース）、様式４（予算計画書）に記載しない自費などで調達する研究設備（自費調達設備（リースを含む。））、既存設備等の別に記載してください。

自費調達設備（リースを含む。）及び既存設備については、担当機関名を明記してください。また、様式４（予算計画書）に計上しない人件費（人件費×エフォート率）及び設備備品費の各機関の負担額合計と総計を明記してください。

なお、研究代表者、研究分担者のいずれも所属しない機関の研究補助者や研究設備は含まないでください。

（記入例）

研究代表者：総務　太郎（××大学大学院工学研究科教授）

①○○に関する研究

担当：総務　太郎（××大学大学院工学研究科教授）

霞ヶ関　花子（株式会社＊＊研究開発部主任）

研究補助者（××大学○○名）

主な研究機器：○○○○（リース）

○○○○（購入設備）

○○○○（自費調達設備） 株式会社＊＊

○○○○（既存設備） ××大学

②××に関する研究

担当：通信　一郎（＋＋株式会社企画部部長）

虎ノ門　次郎（××大学大学院工学研究科助手）

研究補助者（××大学○○名）

主な研究機器：○××○（購入設備）

○××○（リース）

○××○（既存設備） ＋＋株式会社

 負担額 ××大学 230万

 株式会社＊＊ 450万

 ＋＋株式会社 100万

 総計 780万

２　連携研究者に係る情報

本研究開発において、共同研究等により連携研究者が研究開発に協力する場合は、当該連携研究者に係る情報を記載してください。なお、連携研究者はSCOPEによる委託費を使用することはできません。詳しくは提案要領をご参照ください。

（記入例）

①△△に関する研究

総務　二郎（××大学大学院工学研究科教授）

虎の門　花子（株式会社＊＊研究開発部主任）

②※※に関する研究

通信　二郎（＋＋株式会社企画部部長）

虎ノ門　一郎（××大学大学院工学研究科助手）

３　その他

研究開発体制を説明する上で参考となる情報（例：「日本学術振興会 博士課程リーディングプログラムに採択されている。」、「文部科学省 地（知）の拠点整備事業に選定されている。」等）があれば記入してください。

# 研究開発実施者経歴説明書

［様式6]

|  |
| --- |
| 研究開発課題名を記入してください。 |

１　氏名（フリガナ） ○○　○○　（　　　　）

２　年齢 平成26年4月1日現在　　歳

３　性別 男・女

４　所属研究機関 ○○大学大学院

５　所属部署名 ○○学研究科　○○専攻　○○室

６　所属研究機関所在地 〒　-　　○○県○○市○○

７　役職名 ○○

上記所属研究機関以外に兼職・兼業する機関及び役職がある場合、所属機関名（法人である場合は

その旨を明記）、役職も記載してください。

８　学位 博士（工学）　（○○大学、○○専攻、○○年取得）

９　エフォート（平成26年度）

**※年間の総仕事時間に対する本研究開発に従事する時間の割合（%）として計算してください。**

**※以下の記述においては、e-Radに登録した情報との整合性を必ずとってください。**

①戦略的情報通信研究開発推進事業　本研究開発課題名　　　　　　　　　　　　 ○○％

②他の競争的研究資金による研究開発　　　　　　　　　　　　　　　　 ○○％（計）

支援を受けているすべての競争的資金及び現在応募しようとしている競争的資金について、配分機関名、制度名・区分、研究開発課題名、研究期間、助成金額、本研究との関連及び相違点、各制度のエフォート(％)を明記してください。現在応募しようとしている競争的資金については、「研究期間」の部分を「申請中」又は「申請予定」と記載してください。支援を受けているにもかかわらず記載がない等、事実と異なる記載があった場合、採択後であっても研究実施を取り消す場合があります。

（記載例1）

○○省、○○費・○○、○○○の研究開発、平成○○年～平成○○年、##円

当該研究は○○に関するものであり、SCOPEにおける研究開発は○○に関するものであるため、○○という点において異なる。

○○％

（記載例2）

○○省、○○費・○○、○○○の研究開発、申請中、##円

当該研究は○○に関するものであり、SCOPEにおける研究開発は○○に関するものであるため、○○という点において異なる。

○○％

③他の外部資金による研究開発　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ○○％（計）

1,000万円以上の資金の助成のもの及び現在応募しようとしている外部資金について、制度名、研究開発課題名、研究期間、助成金額（期間中の総額）、本研究との関連及び相違点、各制度のエフォート(％)を明記してください。現在応募しようとしている外部資金については、「研究期間」の部分を「申請中」又は「申請予定」と記載してください。助成を受けているにもかかわらず記載がない等、事実と異なる記載があった場合、採択後であっても研究実施を取り消す場合があります。

（記載例1）

○○省、○○費・○○、○○○の研究開発、平成○○年～平成○○年、##円

当該研究は○○に関するものであり、SCOPEにおける研究開発は○○に関するものであるため、○○という点において異なる。

○○％

（記載例2）

○○省、○○費・○○、○○○の研究開発、申請中、##円

当該研究は○○に関するものであり、SCOPEにおける研究開発は○○に関するものであるため、○○という点において異なる。

○○％

④経常的研究開発　　研究内容を記載してください。　　　　　　　　　　　○○％

⑤経常業務　　　　　業務内容を記載してください。　　　　　　　　　　　○○％

１０　研究者個人に関する研究キーワード

専門分野のキーワードを可能な限り電子情報通信学会の「専門分野分類表※1」の中から5つ選んで記載してください。

※1　http://www.ieice.org/jpn/shiori/pdf/furoku\_g.pdf

１１　研究者経歴

以下の記載例1にしたがって記載してください。

プログラムが「若手ICT研究者等育成型研究開発」又は「若手ワイヤレス研究者等育成型」である場合において、提案要件「② 42歳以下の研究者であって、出産・育児や研究・技術開発以外の職業に従事した経験等、研究に従事していない期間について研究開発課題提案書に記述して申請する場合」を適用する場合には、「研究に従事していない期間」の詳細を含め、記載例2にしたがって記載してください。

（記載例1）

\*\*\*\*年 \*\*月　 ○○大学○○学部○○学科卒業

\*\*\*\*年 \*\*月　 ○○大学大学院○○学研究科○○専攻修士課程修了

\*\*\*\*年 \*\*月　 ○○大学大学院○○学研究科○○専攻博士課程修了

\*\*\*\*年 \*\*月　 博士号取得（○○学博士○○専攻）

\*\*\*\*年 \*\*月　 ○○○○株式会社　○○研究所

○○に関する研究開発に従事

\*\*\*\*年 \*\*月　 ○○○○株式会社　○○研究所　○○研究室　主任研究員

○○に関する研究開発に従事

\*\*\*\*年 \*\*月　 ○○大学大学院○○学研究科　教授

○○に関する研究開発に従事

（記載例2）

\*\*\*\*年 \*\*月　 ○○大学○○学部○○学科卒業

\*\*\*\*年 \*\*月　 ○○○○株式会社　営業部

○○の製造販売における営業に従事

\*\*\*\*年 \*\*月　 ○○大学大学院○○学研究科○○専攻修士課程修了

\*\*\*\*年 \*\*月　 ○○○○株式会社　○○研究所　○○研究室

○○に関する研究開発に従事

\*\*\*\*年 \*\*月～\*\*\*\*年 \*\*月　第1子出産に伴う育児休業を取得

１２　研究開発課題に関連する主要な発表論文・著書・特許等

主なものを10件程度記入してください。

論文の場合、著者名、“タイトル”、雑誌名、巻、号、ページ、発表年（西暦）を記載してください。著書、特許も左記に準じます。

# 既存研究設備等説明書

［様式7]

|  |
| --- |
| 研究開発課題名を記入してください。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 設備名・メーカ・型番 | 性能・仕様・購入（予定）年度 | 金額 | 使用目的 | 所有機関 |
| ○○研究設備（メーカ、型番などもわかる範囲で記載ください。） | 性能：仕様：購入（予定）年度： | 単価　○○円数量　　□個金額\*\*,\*\*\*円 |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

◎注意事項

・本研究開発で使用する主要な**既存研究設備**や**自費調達設備**の名称・メーカ・形番、性能・仕様・購入（予定）年度、購入金額（税込）、当該研究における使用目的、所有機関について記載してください。

・研究開発内容説明書（様式2）で記述した「研究開発計画」と対比できるように記載してください。

# 物品リース・レンタル計画書

［様式8]

|  |
| --- |
| 研究開発課題名を記入してください。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 設備名・メーカ・型番 | 性能・仕様・期間 | 金　額 | 使用目的 |
| ○○研究設備（メーカ、型番などもわかる範囲で記載ください。） | 性能：仕様：期間：（○ヶ月間などと記載） | 単価○○円（1ヶ月）［XX年度］○○円（○ヶ月）［XX年度］○○円（○ヶ月） |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

◎注意事項

・ 研究開発に必要な機器設備の調達方法の決定にあたっては、購入とリース・レンタルで調達経費を比較し、原則、安価な方法を採用していただくことになります。**本研究開発以外での利用はできません。**

・ リース又はレンタルする設備の単価は、リース又はレンタル会社にて調査願います。

・ 本様式の「使用目的」については、研究開発内容説明書（様式2）で記述した「研究開発計画」と対比できるように記載してください。

物品購入計画書

［様式9]

|  |
| --- |
| 研究開発課題名を記入してください。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 設備名・メーカ・型番 | 性能・仕様購入年度 | 金　額 | 使用目的 | リース又はレンタルが不可の理由 |
| ○○研究設備（メーカ、型番などもわかる範囲で記載ください。） | 性能：仕様：購入年度： | 単価　○○円数量　　□個金額\*\*,\*\*\*円 |  | 【理由】○○によりリース（レンタル）困難とのリース（レンタル）会社からの回答があったため。 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

◎注意事項

・ 研究開発に必要な機器設備の調達方法の決定にあたっては、購入とリース・レンタルで調達経費を比較し、原則、安価な方法を採用していただくことになります。本事業の研究費は「委託費」であるため、購入した物品は研究開発期間終了後に総務省所有の物品となります。**本研究開発以外での利用はできません。**

・リース･レンタルと調達経費を比較せずに購入する場合は、リース又はレンタル不可の理由を必ず記載してください。なお、採択後の課題実施における経理処理手続では、リース又はレンタル不可の証明書を準備していただくことになります。

・ 本様式の「使用目的」については、研究開発内容説明書（様式2）で記述した「研究開発計画」と対比できるように記載してください。

平成２６年　　月　　日

所属研究機関　○○大学　○○学部　○○学科

役職名　　　　教授

研究代表者氏名　○○　○○　　押印は不要

# 現在実施中の研究開発課題に対する不参画申請書

［様式10]

　私は、戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）における今般の公募に対して、下記１に掲げる研究開発課題の研究代表者として提案するため、下記2に掲げるすべての研究開発課題の研究代表者の了解のもと、現在SCOPEで実施中かつ来年度も継続して実施予定である下記2に掲げるすべての研究開発課題の来年度以降の研究分担者から外れ、当該研究開発課題には参画しないことを誓約します。

　また、今般の公募における審査の結果、下記1に掲げる研究開発課題が採択されなかった場合にも、下記2に掲げるすべての研究開発課題の来年度以降の研究分担者から外れることを約束します。

記

1　新規に提案する研究開発課題名

「　　　　　　」　　　研究開発課題名を記入してください。

2　現在実施中の研究開発課題

※研究分担者として登録されているすべての課題を記載してください。

・課題名：「□□□□□の研究開発」（受付番号：000000000）

・研究代表者氏名：○○　○○（所属：○○○大学○○学科）

・実施プログラム名：△△△△△△型研究開発

・研究期間：平成○○年度～平成○○年度（○年間）

3　上記2の研究開発課題の研究分担者から外れても当該研究開発課題の実施に影響を及ぼさない理由

平成２６年　　月　　日

会社名　○○○○株式会社

代表者名　役職名　代表権者名　押印要

# 確　認　書

［様式11]

　当社は、戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）における若手ICT研究者等育成型研究開発プログラム又は若手ワイヤレス研究者等育成型研究開発※の今般の公募に対して、提案要領に定められた中小企業の要件を満たしていることを確認しています。

※いずれかを選択してください。

記

1　新規に提案する研究開発課題名

「　　　　　　」　　　研究開発課題名を記入してください。

2　研究代表者又は研究分担者の氏名・所属

3　会社概要

　（1）設立年：　　　　年　　月　　日[創業　　　年]

（2）資本金：　　　　　百万円

（3）従業員（職員）数：　　　　　名

　（4）業務概要